

令和4年10月1日から令和5年2月28日まで中央図書館は長期休館

基本方針	提供するサービス	事業内容	指標	(参考)令和3年度				令和4年度実施事業の評価			
				実績	評価	今後の方向性	委員の意見等	実績(D)	評価(C)	今後の方向性(A,P)	委員の意見等
1 市民の生涯学習を支える図書館	(1) 貸出・閲覧サービス	ア 幅広い分野の資料をバランスよく揃え、魅力ある書架を構成し、貸出・閲覧サービスを行います。 イ 利用者の求める資料を探しやすいように配架し、読書を楽しめる十分な閲覧スペースを設けます。 ウ 未返却資料がある利用者には、貸出しの制限を行い、利用の公平性を保ちます。	・所蔵資料数(図書、雑誌、視聴覚資料、マイクロフィルム) ・貸出数(図書(雑誌含む)、視聴覚資料) ・電子書籍サービス(タイトル数、ログイン数、閲覧貸出数)	・所蔵資料数 図書1,549,323冊 雑誌1,233タイトル 視聴覚資料71,692点 マイクロフィルム4,000点 ・貸出数 図書・雑誌1,757,150冊 視聴覚資料144,359点	令和4年度は長期休館があったため、令和5年度を評価する際の補正として、令和3年度実績を記載した。	・所蔵資料数 図書1,565,409冊 雑誌1,411タイトル 視聴覚資料66,933点 マイクロフィルム4,000点 ・貸出数 図書・雑誌1,495,044冊 視聴覚資料85,473点 ・電子書籍 タイトル数10,634点 ログイン数3,892回 閲覧貸出数5,013点 ・図書館リニューアルオープンに併せ、閲覧席での水分補給を可能にするとともに、一部の席でパソコンを使用できるように変更した。	A	・魅力ある書架を構成するために不用となった資料(情報が古くなったものや状態の悪いものなど)を整理し、利用者のニーズを考慮しつつ、資料の充実を図った。 ・視聴覚資料については、閉架出納方式への移行作業に伴い、劣化の著しい資料を中心に蔵書構成の見直しを行った。 ・電子図書館事業を開始し、非来館型の読書環境整備を行った。	継続	・幅広い世代の多様な興味や関心、課題解決に役立つ資料の充実を図り、引き続き、利用者のニーズを考慮しながら、紙媒体と電子媒体のバランスを考え、蔵書を構築していく。	令和3年度に検討していた令和4年度以降の方向性に対し、実績はどうだったか、自己評価を入力する。 A 事業を拡充して実施できた B 事業を継続して実施できた C 予定の事業を十分に実施できなかった D 予定の事業を実施できなかった
	(2) 予約・リクエストサービス	ア カウンターや電話での予約に加え、OPAC(オンライン蔵書目録検索システム)やインターネットからの資料の予約など、利用者のニーズに合った予約方法を選択できるような環境整備に努めます。 イ 利用者が望む資料について、可能な限り迅速な資料提供を行います。 ウ 所蔵していない図書や雑誌へのリクエストは、購入及び他自治体の図書館等とのネットワークを活用した相互貸借を行うことで、利用者の資料要求に応えます。 エ 視聴覚資料及び電子書籍については、利用者からの要望を参考とし、魅力ある蔵書を構築していきます。	・リクエスト受付件数(図書、雑誌、視聴覚資料) ・都内公立図書館からの借用件数 ・国立国会図書館、都外公立図書館、大学図書館等からの借用件数	・リクエスト受付件数 総数605,820件 (内訳) 図書532,690件 雑誌30,968件 視聴覚資料42,162件 ・都内公立図書館からの借用件数9,320件 ・国立国会図書館、都外公立図書館、大学図書館等からの借用件数146件		・リクエスト受付件数 総数552,095件 (内訳) 図書499,980件 雑誌27,816件 視聴覚資料24,299件 ・都内公立図書館からの借用件数8,079件 ・国立国会図書館、都外公立図書館、大学図書館等からの借用件数130件	A	・インターネットによる未所蔵資料のリクエスト受付を開始し、利用者のニーズに合った予約方法の拡充を図った。 ・23区内図書館との連携ネットワークを強化し、より迅速な資料提供に努めた。	継続	・引き続き、利用者のニーズや地域性・社会的ニーズを把握し、魅力ある資料収集を行うとともに、市民からの資料要求に関する申請のオンライン化を推進する。	
	(3) レファレンス(調べもの相談)サービス	ア 図書館資料のほか、オンラインデータベースやインターネットを活用して的確なレファレンス(調べもの相談)をすることによって、市民の暮らしの中での課題解決に応え、調査研究や学習を支援します。 イ 館内カウンターのほか、電話や電子メールなど、利用者のニーズに応じて幅広く窓口を設けることにより、レファレンスサービスを行います。 ウ 中央図書館は、地区図書館で受ける解決困難なレファレンスを支援します。	・相談受付件数 ・市民向けレファレンス講座の回数 ・職員向けレファレンス研修の回数	・相談受付件数4,841件、1日平均件数約15.1件 ・レファレンス講座1回実施 参加人数21人「宇宙に生きる私たち~それを知るための大望遠鏡計画」 ・レファレンス研修6回実施		・相談受付件数3,216件、1日平均件数約10.7件(長期休館中、中央図書館では未実施) ・レファレンス講座2回実施 ・レファレンス研修2回実施 ・中央図書館リニューアルオープン記念イベント「ウィキペディアタウンin府中」の開催	B	・職員のスキルアップを図り、市民からの様々な相談に対応できた。 レファレンス講座の代替として、市民との協働による「ウィキペディアタウンin府中」を実施し、参加者から好評を得ることができた。 ・新システム・新事業に関する研修を行ったため、職員向けレファレンス研修の回数は減少した。	継続	・図書館資料、データベースなどを使用し、市民からのさまざまな相談・質問に対応し、市民生活に必要な図書館の実現を図る。 ・中央図書館リニューアルオープンに伴い、休止したレファレンス講座及びレファレンス研修を再開する	
	(4) ビジネス支援サービス	ア ビジネス関係資料コーナーを設置します。 イ 資格取得やキャリアアップのための資料及び情報を提供します。 ウ 市の産業振興部門などと連携し、産業活動や起業に関する資料及び情報を提供し、地域活性化を側面から支援します。	・ビジネス支援に関する講座の回数	・ビジネス講演会1回実施 参加人数18人「生まれは天保十四年大國魂神社のしめのうち 府中の酒屋の処世術」		・ビジネスに関する最新情報を利用者へ提供するため、新刊図書やチラシ等を取寄せ、配架することができた。 ・年1回のビジネス講座を開催し、参加者からの評価は高かった。 ・情報が古い・複本など、適切な除籍を開始した。	B	・ビジネスに関する最新情報を利用者へ提供するため、新刊図書やチラシ等を取寄せ、配架することができた ・年1回のビジネス講座を開催し、参加者からは高評価を得た。 ・情報が古い・複本等の所蔵数を見直し、適切な除籍を開始した。	継続	・ビジネス関連の蔵書を充実するとともに、利用者が手に取りやすいコーナーの設置に努める。 ・講座を実施する。 ・適切な除籍を引き続き行い、展示や一般書棚の表示を見直し、しごと情報コーナーを周知する。 ・商工会議所などの関係機関と連携を図り、チラシや企業情報の充実を図る。 ・講座を実施した企業からの就職情報提供を求める。	

令和4年10月1日から令和5年2月28日まで中央図書館は長期休館

基本方針	提供するサービス	事業内容	指標	(参考) 令和3年度				令和4年度実施事業の評価				
				実績	評価	今後の方向性	委員の意見等	実績(D)	評価(C)	今後の方向性(A,P)	委員の意見等	
1 市民の生涯学習を支える図書館	(5) ハンディキャップサービス	ア 図書館利用に障害のある市民にも利用しやすいよう、施設や機能を整備します。 イ 大活字本や点字図書、録音図書などの様々な資料を収集し提供すると同時に、全国的なネットワークを活用して利用者の幅広いニーズに応えています。 ウ 通常の活字による読書が困難な方へ、電子書籍などのアクセシブルな資料を提供するほか、対面朗読のサービスを行います。 エ 高齢や心身の障害など様々な理由で図書館に来ることが困難な方に、資料を郵送や宅配するサービスを行います。 オ 子どもたちが自分にあった方法で本の楽しさに出会えるように、布の絵本やさわる絵本、LLブック(写真や短い文章などを用い、読みやすく工夫されている本)などの様々な資料を収集し、「りんごの棚」として設置します。	・大活字本、点字図書、録音図書、布の絵本、さわる絵本、点字雑誌の所蔵数 ・ボランティア活動(対面朗読、録音図書作成、布絵本作成) ・宅配貸出数(図書・雑誌・視聴覚資料) ・郵送貸出数(録音図書・点字図書) ・布の絵本、さわる絵本等の展示の回数	・蔵書数 大活字本3,640冊 点字図書676冊 録音図書930冊 布の絵本105冊 さわる絵本159冊 点字雑誌350冊 ・ボランティア活動 対面朗読98回 録音図書作成数7冊 布絵本作成数2冊 ・宅配貸出数1,436点 ・郵送貸出数1,178点 ・特集展示1回				・蔵書数 大活字本3,601冊 点字図書678冊 録音図書947冊 布の絵本106冊 さわる絵本194冊 点字雑誌383冊 ・ボランティア活動 対面朗読204回 録音図書作成数13冊 布絵本作成数3冊 ・宅配貸出数1,362点 ・郵送貸出数1,001点 ・特集展示1回	B	・大活字本は古くなったものを一部除籍したため、蔵書数が減少したが、新しく刊行されたものを継続して購入し、利用者に提供することができた。 ・録音図書や布の絵本の作成を継続して行い、蔵書を増やすことができた。 ・図書館利用が困難な方に対して、対面朗読、宅配業務、郵送業務を継続して実施することができた。令和3年度はコロナウイルスの影響で対面朗読も一時休止となっていたが、今年度は継続して行った。中央図書館の休館中も10月-1月の期間は教育センターにて対面朗読を行うことができた。 ・地区図書館の巡回展示を行うことで利用者の拡大に努めた。	継続 ・大活字本、点字図書、録音図書、布の絵本、さわる絵本、点字雑誌など様々な資料の収集を継続して行う。 ・ボランティア活動(対面朗読、録音図書作成、布絵本作成)については、対面朗読や資料の作成を継続して実施する。 ・郵送、宅配は、継続してサービスを実行するとともに利用者拡大のための広報活動を行う。宅配はサービスの担い手であるボランティアを継続して募集する。 ・地区図書館の巡回展示や心身障害者センターでの展示を通して、利用者の拡大に努める。	
	(6) 多文化サービス	ア 外国籍をもつ利用者が自国についての情報や日本で暮らしていくための知識が母語で得られるよう、英語、中国語、ハングルなどの資料を収集し提供します。 イ 外国籍をもつ利用者に対してわかりやすい館内サインの掲示や、利用案内を行います。 ウ 日本人が外国語を学ぶために役立つ資料や、広く外国の言語や文化に親しむための資料を収集し提供します。	・外国語資料のタイトル数	・外国語資料13,267タイトル			・外国語資料13,463タイトル ・長期休館後の再開館に合わせ、利用案内のやさしい日本語版、英語版、中国語版、ハングル版について改訂を行った。	B	・例年どおり、外国語資料の収集、提供を行い、外国の方の図書館利用促進を図ることができた。	継続 ・引き続き外国人だけでなく外国語を学ぶ日本人にも役立つ資料や、広く外国の言語や文化に親しむための資料収集に努める。また、図書館だよりでの外国語資料紹介や企画展示の実施を検討し、利用促進を図る。		
	(7) 学習・文化活動の支援	ア 様々なテーマの講座の開催や資料の展示などを行うとともに、団体への貸出などにより市民の読書会を支援します。 イ 学習室、読書室を整備し、市民の学習環境を提供します。 ウ 子どもから高齢者まで幅広い年齢に向けた読書活動を促進するとともに読書への関心が高まるような事業を展開します。	・図書館講演会の回数 ・ワークショップ、朗読会等の回数 ・企画テーマ展示の回数 ・団体貸出の団体数、貸出数 ・学習室等の利用人数	・図書館講演会4回(参加者:延べ46人、オンライン再生回数636回) ・ワークショップ・朗読会6回実施(参加者:延べ82人) ・図書館ガイドツアー10回(参加者:延べ18人) ・図書館員体験ツアー2回(参加者:延べ13人) ・検索レスキュー「OPAC検索案内」36回(参加者:延べ45人) ・図書館探検隊0回(新型コロナウイルス感染症対策のため開催中止) ・企画テーマ展示79回 ・団体貸出 44団体 3,241冊貸出 ・学習室の利用人数 56,684人 ・グループ研究室の利用件数 40件 ・研究個室の利用人数 1,619人			・図書館講演会2回(参加者:延べ135人) ・ワークショップ・朗読会3回実施(参加者:延べ77人) ・図書館ガイドツアー4回(参加者:延べ7人) ・図書館員体験ツアー4回(参加者:延べ29人) ・検索レスキュー「OPAC検索案内」34回(参加者:延べ32人) ・図書館探検隊4回(参加者:延べ31人) ・企画テーマ展示59回 ・団体貸出 48団体 5,253冊貸出 ・学習室の利用人数 45,493人 ・グループ研究室の利用件数 27件 ・研究個室の利用人数 948人 ・中央図書館リニューアルオープンに併せ、学習室全席をPC席に変更し、Wi-Fi接続数を増設した。 ・座席申込システムを導入した。 ・新たに特集棚を増設し、利用者が展示資料を手に取りやすい環境整備を行った。	B	・長期休館があり各種イベントの開催回数は減ったものの、リニューアルオープンの記念イベントとして例年に比較して大規模な講演会を開催し、好評だった。 ・学習室全席をPC席に変更したことで、利用者の学習環境の向上につながった。 ・座席申込システムの導入により、オンラインで学習室などを予約できる環境を整備した。	継続 ・幅広い年齢の方が読書や図書館に関心を持ってもらうよう、魅力ある講座や展示を開催する。 ・令和5年度はラグビーワールドカップ2023が開催されるため、記念イベントの実施について検討する。 ・座席申込システムについては利用者の声や利用状況を見ながら、予約時間帯などの運用について適宜見直しを行う。		

令和4年10月1日から令和5年2月28日まで中央図書館は長期休館

基本方針	提供するサービス	事業内容	指標	(参考)令和3年度				令和4年度実施事業の評価				
				実績	評価	今後の方向性	委員の意見等	実績(D)	評価(C)	今後の方向性(A,P)	委員の意見等	
2 子どもの生きる力を育み、青少年にも魅力ある図書館	(8)児童サービス	ア 魅力ある絵本やよみものなどを豊富に揃えるとともに、本の配架やテーマに沿った展示を工夫し、子どもたちが本の楽しさに出会い、自ら考え、学ぶ力を育むことのできるサービスを提供します。 イ 読書相談や子どもたちから寄せられるレファレンス(調べもの相談)に対応します。 ウ 乳幼児期からの読書への働きかけが読書習慣を形成するうえで大切なことから、豊富な乳幼児向け資料を用意し、親子が気軽に立ち寄れる場を提供します。 エ おはなし会や読書キャンペーンなどの行事を定期的に行い、子どもたちへの楽しさや、本との出会いの場を提供します。 オ 健全育成及び安全性などに配慮し、子どもたちが安心して利用できる環境を提供します。 カ 子育て中の親、または育児に関わる大人が利用しやすい読書環境を整備し、子どもと一緒に本を楽しめる場を提供します。	・児童書所蔵数 ・企画テーマ展示の回数 ・おはなし会の回数 ・ブックトークの回数 ・赤ちゃん絵本文庫の回数及び登録者数 ・児童向けイベントの回数 ・おすすめ図書リストの作成数 ・子ども読書活動推進委員会の開催回数 ・子ども読書活動推進委員会主催イベントの開催数	・児童書所蔵数 335,689冊 ・企画テーマ展示 20回 ・おはなし会 中央:39回 延べ378人 地区:113回 延べ540人 ・ブックトーク 4回 延べ31人(中央) ・赤ちゃん絵本文庫 19回 339人登録(中央) ・児童向けイベントの回数 中央:7回 延べ927人 地区:33回 延べ2,500人 ・おすすめ図書リストの作成数 新規2種 継続6種 ・子ども読書活動推進委員会の開催回数 4回 ・子ども読書活動推進委員会主催イベントの開催数 4回 延べ22人				・児童書所蔵数 358,115冊 ・企画テーマ展示 12回 ・おはなし会 中央:56回 延べ569人 地区:264回 延べ1,586人 ・ブックトーク 2回 延べ11人(中央) ・赤ちゃん絵本文庫 38回 849人登録 ・児童向けイベントの回数 中央:5回 延べ1,097人 地区:39回 延べ3,297人 ・おすすめ図書リストの作成数 新規2種 継続6種 ・子ども読書活動推進委員会の開催回数 4回 ・子ども読書活動推進委員会主催イベントの開催数 12回 延べ84人 ・中央図書館リニューアルオープン記念イベント 工作おはなし会 延べ56人 親子DEおはなし会(乳幼児向け) 延べ44人 なぞときイベント(小学校高学年向け) 延べ260人	B	・中央図書館の長期休館中、おはなし会を別会場で実施するなど、利用者への影響がより少なくなるよう工夫できた。 ・リニューアルオープン記念イベントでは、毎回多くの方に参加いただいた。	継続 ・子どもの読書活動推進を図るため、読書環境を整備し、おはなし会や読書キャンペーンなど、子どもと本を結ぶための魅力ある取組を継続して行う。 ・令和6年度を始期とする第5次府中市子ども読書活動推進計画を策定する。 ・事業の参加者の増加を図るため、地区図書館では、施設のイベントと連携した事業を行う。	
	(9)青少年(ヤングアダルト)サービス	ア 中学・高校生世代に、日常生活や成長過程に沿ったテーマの資料を揃え、読書への働きかけを行います。 イ 青少年世代同士の情報交換の場を設けます。	・企画テーマ展示の回数 ・青少年向けイベントの回数	・企画テーマ展示 3回(9月から実施) ・夏休みキャンペーン「My Favorite Things」延べ129人 明星中学校2年生と協働 ・「FC東京の選手と作ろう!おすすめ本のつながりMAP」応募数113点			・企画テーマ展示 4回 ・夏休みキャンペーン「My Favorite Things」延べ20人 ・中央図書館リニューアルオープン記念イベント なぞときイベント(中学生向け) 延べ102人	B	・それぞれの取組を通じて、中学、高校生世代へ読書の働きかけを行うことができた。特にリニューアルオープン記念イベントでは、多くの方に参加いただいた。	継続 ・中学、高校生世代に役立つ資料を揃え、読書への働きかけを継続して行う。 ・青少年向けのイベントを実施し、図書館利用へとつなげる。		
	(10)学校支援サービス	ア 学校図書館にある資料で解決できない調べ学習の課題などに、資料提供やレファレンス(調べもの相談)により支援します。 イ 学級貸出を行い、資料の支援を行います。 ウ 学校からの要請で、町たんけんや社会科見学、中学生などの職場体験などの受入れを行います。	・学級貸出の貸出総数、1クラス平均冊数(小・中学校) ・町たんけん、社会科見学などの受入数 ・職場体験受入数	・学級貸出 貸出総数 9,625冊 1クラス平均冊数 小学校:20.0冊 中学校:6.1冊 ・町たんけん、社会科見学などの受入数 中央:6回 地区:8回 ・職場体験受入数(中央)1校2人(市立中学校職場体験は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)			・学級貸出 貸出総数 10,628冊 1クラス平均冊数 小学校:23.3冊 中学校:2.7冊 ・町たんけん、社会科見学などの受入数 中央:3回 地区:13回 ・職場体験受入数(地区)1校26人(市立中学校職場体験は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)	B	・学級貸出については、中央図書館の長期休館中において、全館休館の2月を除いて継続的に実施し、学校図書館を支援することができた。	継続 ・学級貸出を継続して行い、学校図書館の支援に努めていく。 ・市立中学校の生徒の職場体験が再開されたことから、例年どおり受入れを進めていく。		
3 図情 書報 館 社会における市民の情報拠点とな	(11)視聴覚サービス	ア 視聴覚資料は、その他の資料との関係を考慮しながら、音声・映像資料(CD、DVDなど)を収集します。 イ 映像資料の映写会の実施や視聴用機器を設置し、館内での視聴を可能にするなど、視聴覚資料ならではの様々なサービスを展開します。	・視聴覚資料の所蔵数 ・視聴席利用回数 ・企画テーマ展示の回数 ・映写会の実施回数	・視聴覚資料の所蔵数71,692点(再掲) ・視聴席利用回数6,101回 ・企画テーマ展示21回 ・映写会実施回数1回(バリアフリー上映会「くちびるに歌を」:参加者15人)		・視聴覚資料の所蔵数66,933点(再掲) ・視聴席利用回数4,061回 ・企画テーマ展示12回 ・映写会実施回数1回(バリアフリー上映会「おらおらでひとりいぐも」:参加者24人) ・視聴覚資料の貸出し方法を架出納方式に変更した。 ・ナクソスミュージックライブラリーのリファラー認証を導入した。 ・国立国会図書館「歴史的音源」の利用を開始した。	B	・閉架出納方式への移行作業に伴い、劣化の著しい資料を中心に蔵書構成の見直しを行ったため、所蔵資料数は減少したが、盗難防止について対策を強化することができた。 ・ナクソスミュージックライブラリーについて、来館不要で利用できるように変更し、非来館型サービスの拡充を図った。	継続 ・引き続き、多様なジャンルの視聴覚資料の収集に努めるとともに、ストーリーミングサービスの発展など時代の変化を踏まえ、視聴覚資料の環境整備を図る。			

令和4年10月1日から令和5年2月28日まで中央図書館は長期休館
令和4年度実施事業の評価

基本方針	提供するサービス	事業内容	指標	（参考）令和3年度				令和4年度実施事業の評価			
				実績	評価	今後の方向性	委員の意見等	実績(D)	評価(C)	今後の方向性(A,P)	委員の意見等
3 図情 書報 館社 会に おけ る市 民の 情報 拠点 とな	(12) 情報発信サービス	ア ホームページや配信メールの活用により、資料及び図書館に関する情報を迅速に利用者へ提供します。 イ 紙媒体・電子媒体の資料の整理と活用を図るため、情報検索の手段となるデータベース化を行います。 ウ レファレンス（調べもの相談）の質問や新聞記事見出しなどのデータベース化を継続し、情報提供の支援を行います。 エ 市民が利用するインターネット端末を整備し、情報収集の機会を提供します。 オ 様々な理由で図書館に来館することが困難な方などに向けて、電子図書館などの非来館型サービスを実施します。	・ホームページのアクセス数 ・データベース利用者数 ・インターネット席利用者数 ・電子書籍サービス（タイトル数、ログイン数、閲覧貸出数）（再掲）	・ホームページのアクセス数 2,036,524件 ・データベース利用者数448人（うち国立国会図書館デジタル化資料送信サービス閲覧利用者175人） ・インターネット席利用者数4,819人				・データベース利用者数439人（うち国立国会図書館デジタル化資料送信サービス閲覧利用者178人） ・インターネット席利用者数2,624人 ・電子書籍（タイトル数10,634点、ログイン数3,892回、閲覧貸出数5,013点）（再掲） ・図書館ホームページをリニューアルした。 （6月追記 ホームページのアクセス数が指標と3年度実績に追記されていたが、R4実績には追記されていなかった。）ホームページのアクセス数 1,869,995件	A ・市民のニーズに応じたデータベースを提供できた。 ・非来館型サービスとしてご要望の多かった電子書籍サービスを開始し、順調に利用いただいた。 ・ホームページを更新し、地区図書館のイベントの情報など発信情報を充実させた。	拡充 ・既存データベースの新機能や活用方法の周知に努める。新たなデータベースの導入検討を行う。 ・電子書籍サービスの周知に努め、多くの方に利用してもらえよう工夫をする。 ・非来館型の図書館サービスについての職員向け研修を外部講師を招いて行う（R5度）	
4 市民 の誇 りとな る図 書館	(13) 地域情報の提供サービス	ア 郷土資料や行政資料など地域資料の整備と活用を図り、市民及び市政への情報提供を行います。 イ 地域資料のデジタル化を実施し、紙資料の保存と資料閲覧における利便性の向上を図ります。さらに、閲覧を希望する方がいつでも活用できるよう、デジタル化した資料を著作権に留意しながら、インターネットで提供します。	・地域資料の所蔵資料数 ・地域資料の修繕数 ・「こども府中はかせ」の発行回数 ・地域資料デジタル化点数（令和4年度開始）	・地域資料の所蔵資料数89,547点 ・地域資料の修繕数 21点 ・こども府中はかせ12号「府中の道」発行				・地域資料の所蔵資料数 91,187点 ・地域資料の修繕数 34点 ・こども府中はかせ13号「府中の農業」発行 ・地域資料デジタル化点数51件	A ・難解な地域資料を、児童へ向けて平易な表現にした冊子を作成した ・8が年計画の初年度として地域資料のデジタル化に着手した。	継続 ・引き続き、府中市に関連する資料を収集・保管する。 ・幅広い世代の利用者が郷土に関する資料に触れやすい環境を整える。 ・地域資料のデジタル化を進める。	
	(14) ボランティア活動の推進	ア おはなし会や対面朗読などの講習会を実施し、図書館や学校などで活躍するボランティアを養成します。 イ 図書館におけるボランティア活動を推進し、市民との協働を積極的に行います。	・ボランティアの登録者数 ・読み聞かせ講習会の回数 ・おはなしボランティアステップアップ講座の回数 ・音訳ボランティア養成講座の回数	・ボランティアの登録者数 おはなしボランティア58人 音訳ボランティア21人 宅配ボランティア6人 布絵本作成ボランティア4人 ・読み聞かせ講習会 5回 延べ45人 ・おはなしボランティアステップアップ講座 8回 延べ289人 ・音訳ボランティア養成講座 10回 延べ85人				・ボランティアの登録者数 おはなしボランティア55人 音訳ボランティア25人 宅配ボランティア7人 布絵本作成ボランティア4人 ・読み聞かせ講習会 6回 延べ111人 ・おはなしボランティアステップアップ講座 8回 延べ356人 ・音訳ボランティア養成講座 8回 延べ73人	B ・市民対象の読み聞かせ講習会にて、コロナ禍で定員を減らしていた「ストーリーテリングの部」の定員、回数を元に戻して実施した。 ・音訳ボランティアの養成については、音訳ステップアップ講座とデイズ編集講座を行い、令和3年度に加入したボランティアの方の技術向上を図ることができた。	継続 ・図書館や学校などで活躍するボランティアを養成し、図書館事業における協働を継続して進めていく。 ・音訳ボランティア養成について、音訳フォローアップ講座とデイズ編集講座を行い、更なる技術の向上を図る。	

	令和5年5～6月				令和5年5～6月					
--	----------	--	--	--	----------	--	--	--	--	--